



## 2. 県内経済動向の概要

### (1) 前年同月比

(単位：%)

	項 目	前 年 同 月 比					
		26年7月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	4.0	6.2	5.0	3.0	4.1	2.6
	乗用車新車登録台数	△ 3.0	△ 18.1	△ 4.9	△ 10.6	△ 12.2	△ 5.6
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	17.8	6.0	△ 26.7	58.7	△ 39.8	135.3
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	△ 41.3	△ 17.6	33.1	154.1	△ 10.2	—
住宅投資	新設住宅着工戸数	△ 19.0	△ 14.1	△ 12.1	0.2	△ 1.0	1.1
生産活動	鉱工業生産指数（総合） <sup>注1</sup>	0.9	0.0	2.5	△ 3.5	△ 8.6	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む） <sup>注1</sup>	0.19	0.16	0.17	0.20	0.21	0.24
	雇用保険受給者実人員	△ 21.8	△ 21.1	△ 17.2	△ 20.5	△ 20.6	△ 17.3

注1 原指数

### (2) 前月比

(単位：%)

	項 目	前 月 比					
		26年7月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	2.1	4.8	△ 10.4	4.1	2.0	25.8
	乗用車新車登録台数	△ 0.3	△ 30.4	55.6	△ 18.9	4.9	△ 5.1
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	16.4	△ 35.4	0.3	△ 1.0	△ 56.5	140.0
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	△ 59.8	△ 23.0	40.5	171.5	△ 67.8	—
住宅投資	新設住宅着工戸数	11.5	△ 33.2	△ 4.5	12.2	13.9	7.9
生産活動	鉱工業生産指数（総合） <sup>注2</sup>	△ 4.6	2.2	1.0	△ 2.9	△ 0.2	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む） <sup>注2</sup>	△ 0.01	△ 0.02	0.02	0.02	0.01	0.06
	雇用保険受給者実人員	0.8	△ 4.9	△ 1.0	△ 6.9	△ 10.2	2.8

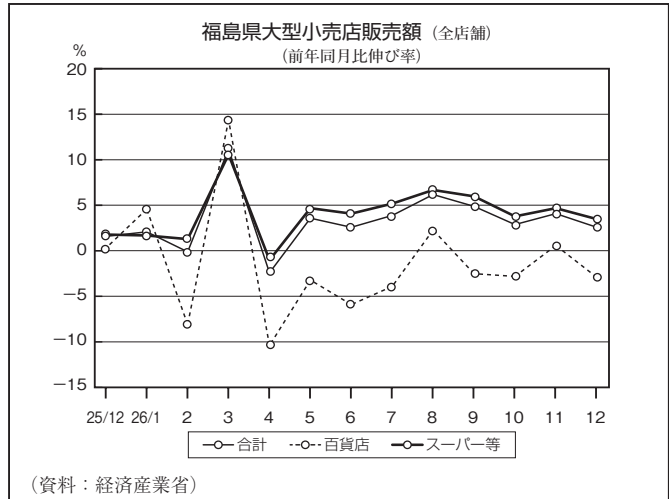
注2 季節調整値

### 3. 県内経済動向

#### 消費動向

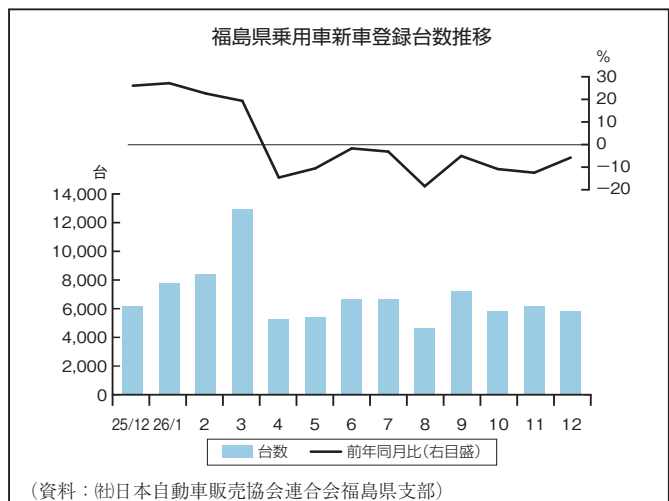
##### 大型小売店：8ヵ月連続で前年比増

12月の県内大型小売店の販売額（全店舗ベース）は、合計で261億33百万円（前年同月比+2.6%）と8ヵ月連続で前年を上回った。業態別で見ると、百貨店は、飲食料品が前年を上回ったものの、衣料品が前年を下回り、合計では同△2.9%となった。一方、スーパーは、飲食料品が前年を上回ったことから、合計では同+3.5%となった。



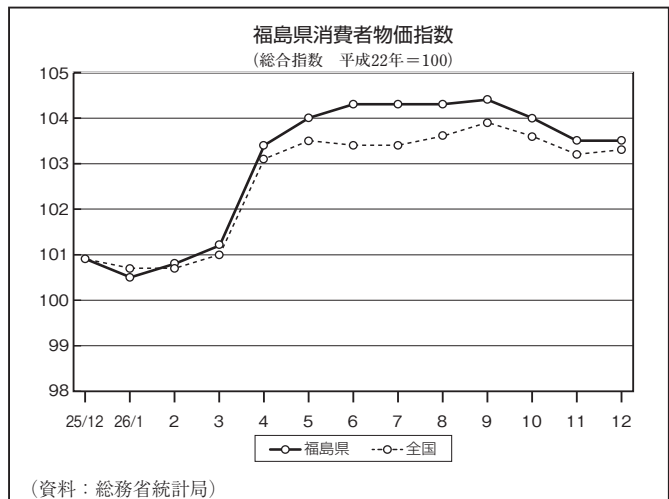
##### 乗用車販売：9ヵ月連続で前年比減

12月の乗用車新車登録台数（ナンバーベース）は、合計で5,826台（前年同月比△5.6%）となり、9ヵ月連続で前年を下回った。車種別で見ると、軽乗用車が2,757台（同+13.8%）と3ヵ月ぶりで前年を上回ったものの、普通車が1,455台（同△23.3%）と3ヵ月連続、小型車が1,614台（同△12.9%）と5ヵ月連続でそれぞれ前年を下回った。



##### 消費者物価指数：前月と変わらず、前年比で上昇

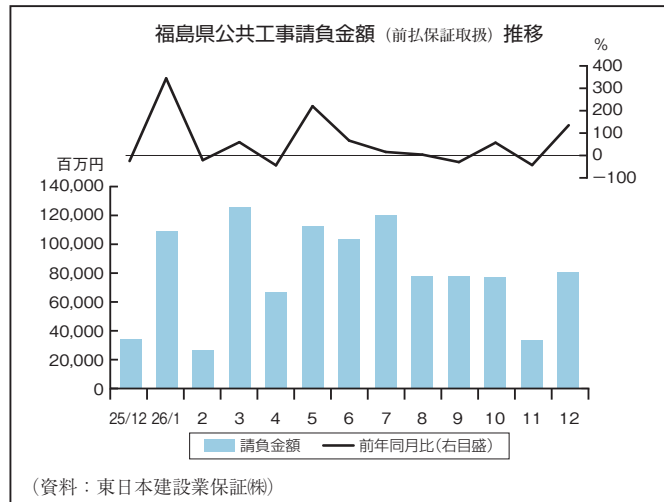
12月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、平成22年=100）で見ると、103.5と前月と変わらなかったが、前年同月比+2.6%となった。費目別に前月比で見ると、「食料」が103.0（前月比+0.8%）など3費目で上昇したものの、「被服及び履物」の103.5（同△2.6%）など5費目が下降した。



公共投資

公共工事：請負額は2ヵ月ぶりで前年比増

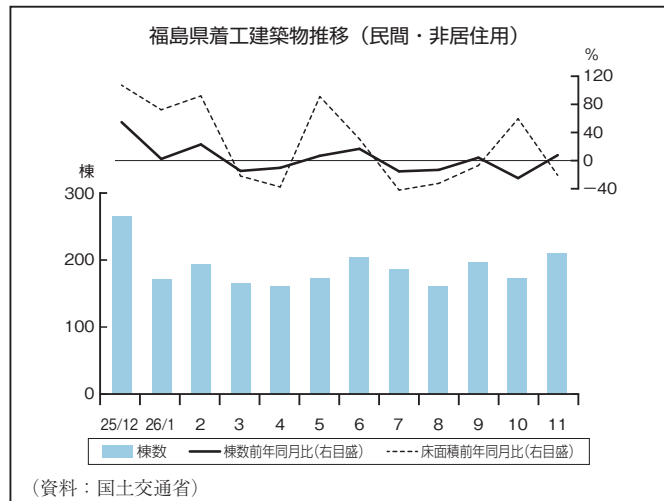
12月の公共工事前払保証取扱は、件数が686件（前年同月比△9.6%）と3ヵ月連続で前年を下回った。一方、請負金額は810億81百万円（同+135.3%）、保証金額は369億54百万円（同+132.0%）と、ともに2ヵ月ぶりで前年を上回った。



設備投資

設備投資：工事費予定額が3ヵ月ぶりで前年比減

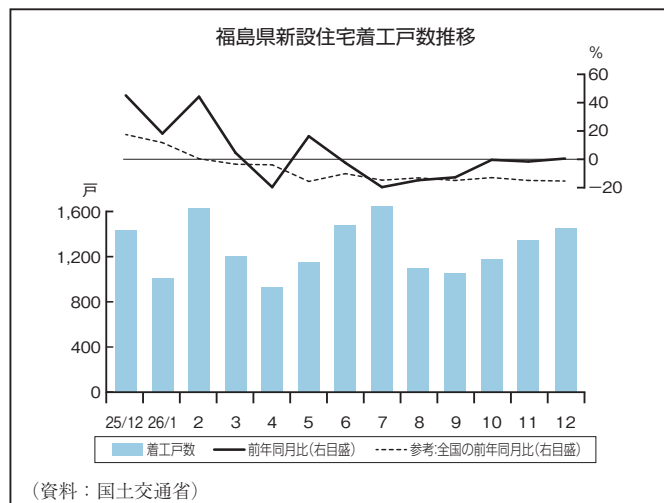
11月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が210棟（前年同月比+7.7%）と2ヵ月ぶりで前年を上回った。一方で、工事費予定額は120億35百万円（同△10.2%）と3ヵ月ぶり、床面積は67,245㎡（同△20.6%）と2ヵ月ぶりでそれぞれ前年を下回った。



住宅投資

住宅建設：2ヵ月ぶりで前年比増

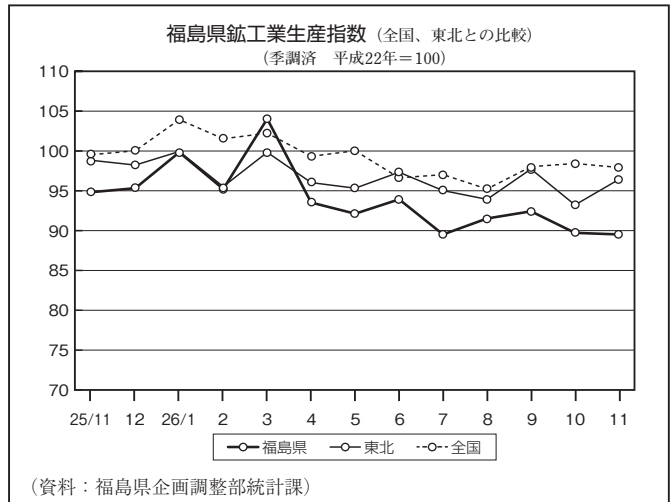
12月の県内新設住宅着工戸数は、1,448戸（前年同月比+1.1%）と2ヵ月ぶりで前年を上回った。主な利用関係別にみると、「分譲」が86戸（同+22.9%）と4ヵ月連続、「貸家」が670戸（同+11.9%）と3ヵ月連続でそれぞれ前年を上回ったものの、「持家」が680戸（同△10.4%）と7ヵ月連続で前年を下回った。



生産活動

鉱工業生産指数：前年比、前月比とも下降

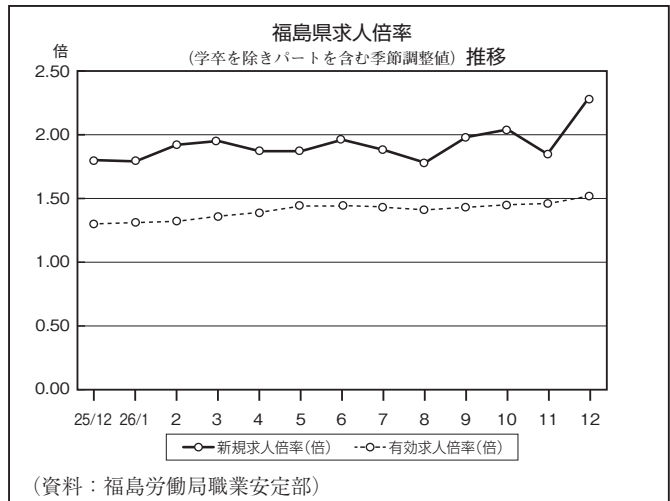
11月の鉱工業生産指数は、89.5（季節調整値）で前月比△0.2%と2ヵ月連続で前月を下回り、原指数が87.1で前年比△8.6%と2ヵ月連続で前年を下回った。業種別の季節調整値をみると、「繊維工業」（前月比+11.7%）など13業種で上昇したが、「化学工業」（同△10.9%）など6業種で下降した。



雇用動向

雇用動向：有効求人倍率は57ヵ月連続前年比増

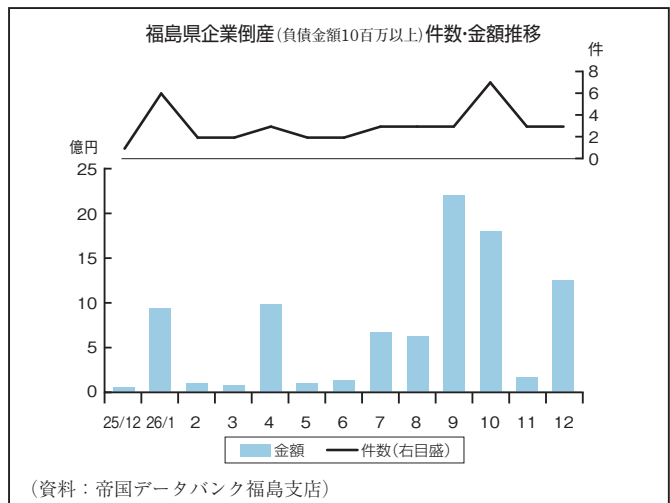
12月の新規求人倍率は、季節調整値が2.28倍（前月比+0.44ポイント）、原数値が2.34倍（前年同月比+0.43ポイント）となった。また、12月の有効求人倍率は、季節調整値が1.52倍（前月比+0.06ポイント）、原数値が1.63倍（前年同月比+0.24ポイント）と57ヵ月連続で前年を上回った。また、12月の雇用保険受給者実人員は5,916人（前年同月比△17.3%）と15ヵ月連続で前年を下回った。



企業倒産

企業倒産：件数、負債額とも前年比で増加

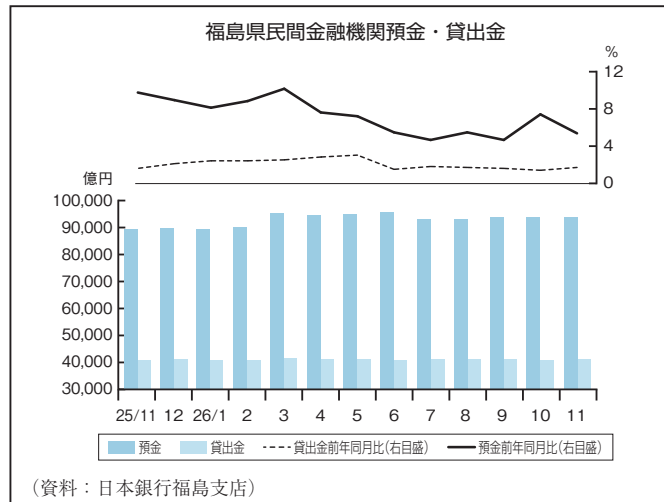
12月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数が3件（前年同月比+200.0%）、負債総額が12億43百万円（同+7,668.8%）となり、件数、負債総額とも前年を上回った。業種別では、製造業、小売業、不動産業が各1件となった。



金融動向

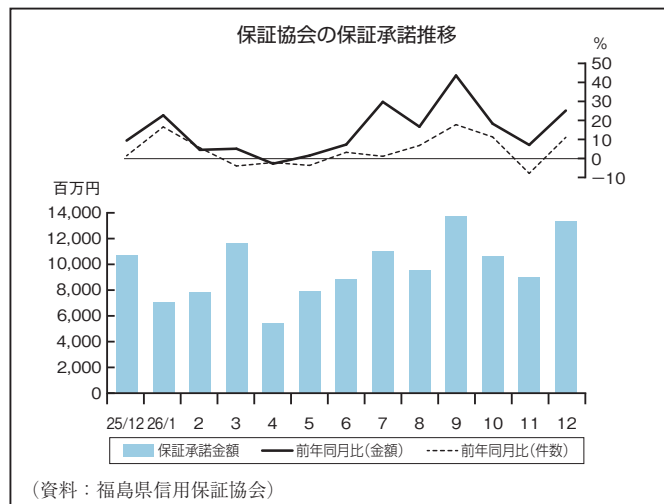
資金需給：預金、貸出金とも前年比で増加

県内金融機関（全国銀行、信用金庫、信用組合の県内店舗分）の11月末の預金残高は、9兆859億円（前年同月比+5.4%）と93ヵ月連続、貸出金残高は、4兆599億円（同+1.8%）と18ヵ月連続で前年を上回った。



保証協会：保証承諾は件数、金額とも前年比増

12月の保証承諾は、件数が1,120件（前年同月比+11.0%）、保証金額が133億46百万円（同+25.1%）となった。また、12月末日現在の保証債務残高は、件数45,929件（同△5.6%）、金額4,062億3百万円（同△9.1%）となった。一方、12月中の代位弁済は、件数が22件（同△29.0%）、金額が4億2百万円（同+163.2%）となった。



4. 業種別動向

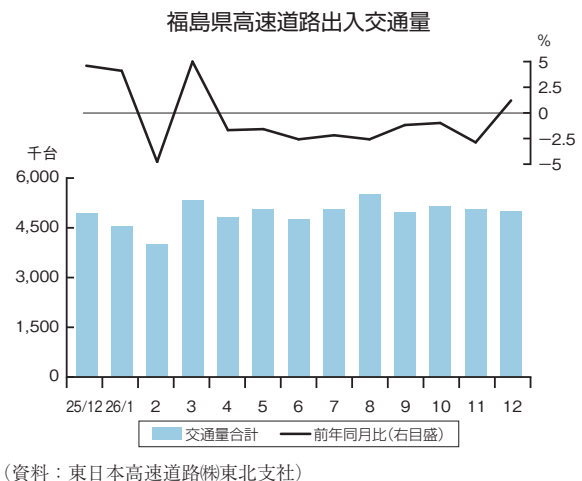
消費動向

**家電量販店** 12月の家電量販店の売上高は、掃除機や理美容器などが前年を上回ったことなどから、合計でも前年をわずかに上回った。

**ホームセンター** 12月のホームセンターの売上高は、作業用品などが前年を上回ったことなどから、合計では前年を5%程度上回った。

**旅行** 11月の旅行取扱額は、国外が前年を下回ったものの、国内が団体を中心に前年を上回ったことから、合計では前年実績を10%程度上回った。

**高速道路** 12月の県内自動車道出入口台数は、合計



で4,983,543台（前年同月比+1.2%）と、9ヵ月ぶりで前年を上回った。路線別にみると、常磐自動車道（いわき勿来IC～常磐富岡IC）は1,521,673台（同+31.6%）と10ヵ月連続で前年を上回った。一方、磐越自動車道（いわき三和IC～郡山東IC）は377,757台（同△8.5%）と3ヵ月連続、東北自動車道（白河IC～国見IC）は2,541,055台（同△7.8%）、磐越自動車道（磐梯熱海IC～西会津IC）は543,058台（同△9.3%）とともに9ヵ月連続でそれぞれ前年を下回った。

**福島空港** 12月の福島空港国内定期路線の利用状況は、17,740人（前年同月比+4.9%）と前年を上回った。路線別にみると、札幌便は6,050人（同△2.2%）、大阪便は11,690人（同+8.9%）となった。

（国際定期路線は全便運休）

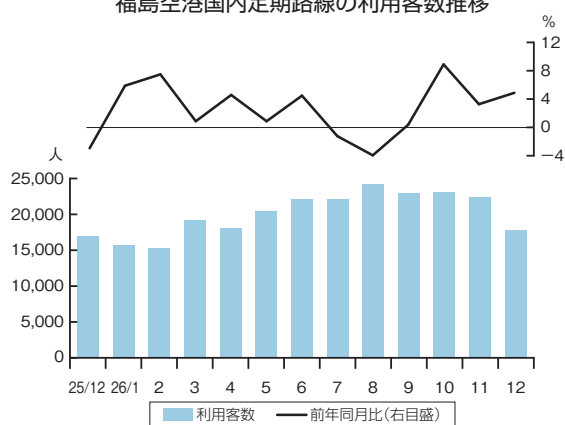
### 生産活動

**化学** 12月の食品包装フィルム用合成樹脂は、中国などの海外需要に回復の動きがみられていることから、前年並みの生産水準となっている。一方、フッ素樹脂は、リチウムイオン電池の材料など、海外からの受注量が増えたことなどから、前年を上回る生産となった。

**鉄鋼・金属** 12月の伸銅品の生産は、自動車向け端子材が米国などの需要が回復してきたことなどから、前年並みの水準となった。また、半導体向け電子材も、新興国の製品との競合が続いているものの、円安効果と昨年水準が低かったことから、前年を30%以上上回る生産を確保した。12月の建機用鋳造品は、中国からの受注減少が続いていることなどから、前年を30%以上下回る生産となった。陸船用バルブは、中国などの低価格品との競合が続いているものの、安定した受注量を確保したことから、前年を30%以上上回る生産となった。

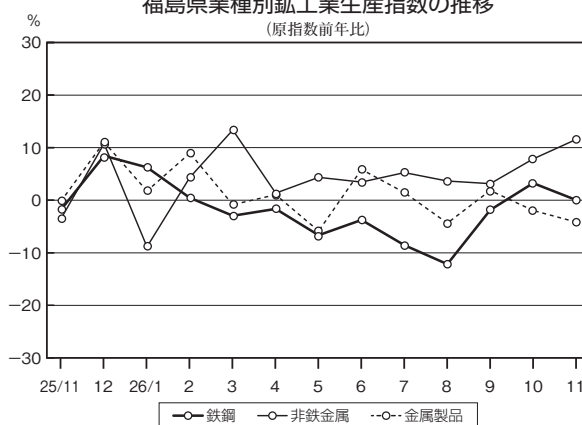
**輸送用機械** 12月の鋳造品は、トラック向けがタイの需要に回復の兆しが出ているのに加え、北米

福島空港国内定期路線の利用客数推移



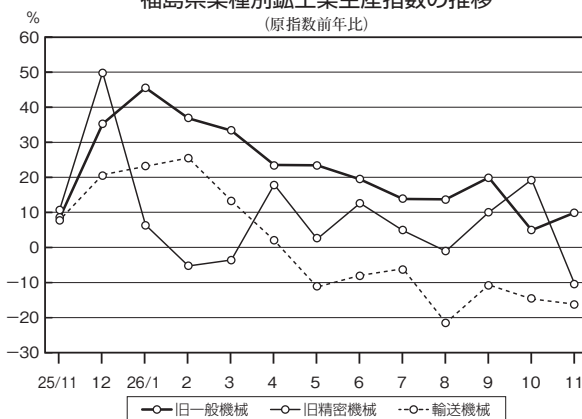
（資料：福島県商工労働部空港交流課）

福島県業種別鉱工業生産指数の推移 (原指数前年比)



（資料：福島県企画調整部統計課）

福島県業種別鉱工業生産指数の推移 (原指数前年比)



（資料：福島県企画調整部統計課）

向けの生産が堅調なことから、合計では前年を5%程度上回る生産となった。一方、オイルシールは、国内の自動車販売が振るわないことによる影響などもあり、合計では計画をわずかに下回る生産となった。

**電気機械** 12月の電気機械は、変圧器が前年を下

回ったものの、配電盤や誘導炉、モーターの生産がいずれも前年を上回ったことから、合計では前年を5%ほど上回る生産となった。

**情報通信機械** 12月の情報通信機械は、国外向けのパソコン（携帯電話の中継局）の生産が好調だったものの、国内向けモバイル基地局の生産が横ばいで推移していることから、合計では前年並みの生産水準となった。

**電子部品・デバイス** 12月のLSI（大規模集積回路）の生産は、前年を20%ほど下回ったものの、前月を5%ほど上回った。

**精密機械** 12月の医療用内視鏡は、欧米向け高付加価値製品および国内向け新製品の生産が堅調なことから、合計では前年をわずかに上回る生産水準を維持した。また、デジタル一眼レフカメラ用レンズは、円安による海外受注の増加により、前年を10%ほど上回る生産となった。

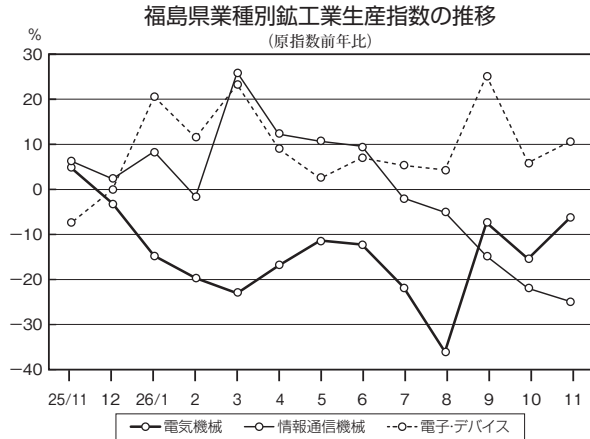
**紙・紙加工品** 12月の製紙は、消費増税による消費の伸び悩みも窺えることから、感熱紙などが減産となり、合計では前年を10%以上下回る生産水準となった。

**清酒** 12月の清酒移出数量は、2,372kl（前年同月比+1.4%）と2ヵ月ぶりで前年を上回った。酒類別では、一般酒（特定名称酒以外の酒）が1,237kl（同△3.1%）と9ヵ月連続で前年を下回ったものの、特定名称酒（吟醸酒・純米酒・本醸造酒）が1,135kl（同+6.8%）と2ヵ月ぶりで前年を上回った。

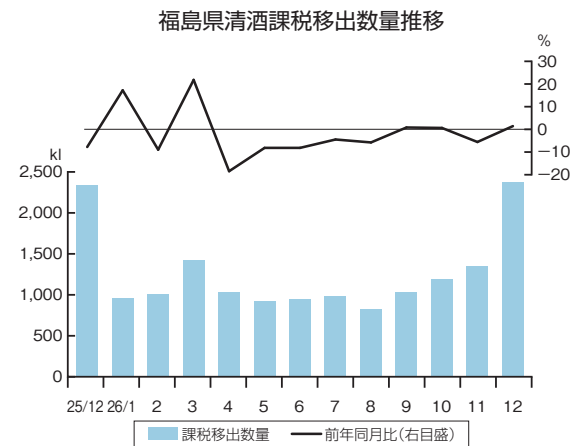
**化合繊維物** 12月の化合繊維物は、単価の高い製品にシフトしている影響や生産量が前年を50%ほど上回ったことから、売上高では前年を40%程度上回った。

**ニット** 12月のニットは、春物商品の生産が中心となり、数量および金額ベースでも、前年を10%ほど上回った。

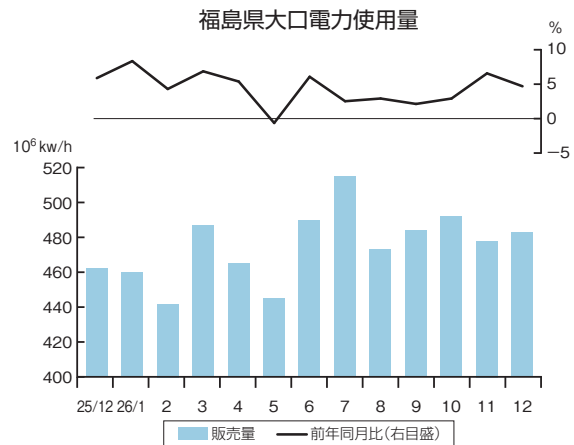
**大口電力** 12月の大口電力販売量は、483百万kw/h（前年同月比+4.7%）と7ヵ月連続で前年を上回った。大口主要販売先を業種別にみると、「非鉄金属」で106百万kw/h（前年同月比+7.6%）、



(資料：福島県企画調整部統計課)



(資料：福島県酒造組合)



(資料：東北電力福島支店)

「電気機械」で78百万kw/h（同+8.6%）、「輸送用機械」で54百万kw/h（同+0.3%）、「化学」で44百万kw/h（同△1.9%）、「一般機械」で25百万kw/h（同+5.0%）、「紙・パルプ」で21百万kw/h（同+32.0%）となっている。